

令和7年度日本 NGO 連携無償資金協力署名式典

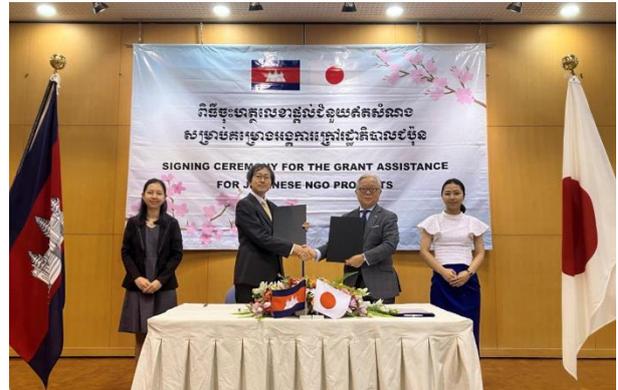
公益財団法人 国際開発救援財団 (FIDR) 「カンボジア北東部における外科診療の拡充事業」

令和8年2月17日(水)、令和7年度日本 NGO 連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて開催しました。

署名式では、植野篤志大使が、(公財)国際開発救援財団の佐伯風土カンボジア事務所所長との間で「カンボジア北東部における外科診療の拡充事業」(供与限度額 316,484 米ドル)についての贈与契約書に署名しました。

国際開発救援財団は、1996年から国立小児病院と連携し、小児外科体制の確立を目指して活動しており、2017年からはクラチェ州に拠点を移し、カンボジア北東部地域の医療改善に取り組んでいます。

本事業を通じ、クラチェ州において、地域住民が適切な外科診療を受けられるよう、コミュニティに根差した医療体制の強化を進めます。さらに、住民に近い保健センターや郡病院の医療従事者が外科疾患に対応できる能力を向上させるとともに、クラチェ州病院を中心とした上位医療機関との連携を深めることで、迅速かつ円滑に医療機関を受診できる体制を整備します。



スピーチにおいて、植野大使は、今回の支援が対象地域の人々に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好関係の発展につながることを期待すると述べました。

続いて国際開発救援財団の佐伯風土カンボジア事務所所長がスピーチを行い、日本政府からの謝意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

令和7年度 日本 NGO 連携無償資金協力贈与契約署名式典 植野大使スピーチ

2026年2月17日(火) 於:日本国大使館多目的ホール

(日・クメール語逐次通訳)

公益財団法人 国際開発救援財団「カンボジア北東部における外科診療の拡充事業」

- 公益財団法人国際開発救援財団(FIDR)カンボジア事務所所長 佐伯風土様
- 御列席の皆様

本日、令和7年度 日本 NGO 連携無償資金協力事業の贈与契約署名式典を開催できることをうれしく思います。

挨拶の本題に入る前に、タイとの国境紛争に一言触れたいと思います。新年を迎える前に二度目の停戦合意が成立したこと、また、18名のカンボジア兵士が帰還したことを、日本政府としても、そして私個人としても歓迎しております。日本政府は、引き続き関係各国と協力し、緊張の一層の緩和に向けて取り組むとともに、各種の支援を継続することをお約束いたします。

日本 NGO 連携無償資金協力、通称「N 連」は、日本政府が日本の国際協力 NGO を対象に、開発途上国・地域で実施する経済社会開発事業を支援する制度として 2002 年に始まりました。カンボジアでは、2002 年から現在まで、この制度を通じて 170 を超えるプロジェクトを支援してきており、これらのプロジェクトはいずれもカンボジア国民の生活の質の向上に直接貢献してきました。

ここで本日署名した事業について、簡単に御紹介させていただきます。

日本政府は、「公益財団法人 国際開発救援財団(FIDR)」がクラチェ州で実施する事業に対し、約 32 万米ドルを供与いたします。

FIDR は、1996 年からカンボジアにおける小児外科の診療体制の構築を目指して医療協力を開始し、2017 年からは、北東部の要であるクラチェ州において小児外科診療の強化に尽力してきました。長年にわたる多大な功績に、改めて深い敬意を表します。

本事業において FIDR は、クラチェ州を中心に、地域住民が適切な外科診療を受けられるよう、コミュニティに根差した医療体制の強化を行います。郡病院の医師の外科系疾患に対する診療能力や、保健センターを含む医療機関職員の対応能力を高めると同時に、クラチェ州病院を中心とする高次医療機関との連携を強化することにより、医療機関への迅速な受診体制を整備します。また、クラチェ州病院への外科手術機材の配備に加え、医師の診療力とすべての医療関係者の能力の向上を図っていきます。これらの活動を通じ、小児・成人双方の外科診療体制を拡充することで、カンボジアの地域医療格差の是正に貢献することが期待されます。

近年、目覚ましい発展を遂げているカンボジアですが、保健分野のみならず、貧困対策、インフラ問題、教育、環境を含む社会開発など、国民の生活向上のために取り組むべき課題はまだまだ山積していると認識しております。日本政府・在カンボジア日本国大使館としては、今後も、日本の国際協力 NGO の皆様と連携し、日・カンボジア包括的戦略的パートナーシップのもと、カンボジアにおける様々な課題の解決を後押ししていきたいと考えています。

本日署名した事業が円滑に実施され、大きな成果を収めること、また、本日御出席の皆様の御健康と御多幸、さらには日カンボジア関係のますますの発展を祈念して私の挨拶とさせていただきます。

御静聴ありがとうございました。



EMBASSY OF JAPAN IN CAMBODIA

PRESS RELEASE

No. 12PR-25/EoJ

17 February 2026

Japan Provides US\$316,484 for Enhancing a Community-Based Surgical Care System in Kratie Province

The Government of Japan will provide US\$316,484 for the recipient organization under the framework, *the Grant Assistance for Japanese NGO Projects*. The Grant Contract was signed today between H.E. Mr. UENO Atsushi, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Kingdom of Cambodia, and the representative of the recipient, to carry out the following project:

‘Project for Strengthening and Expanding Surgical Care in Northeastern Cambodia’
(US\$316,484)

Recipient: Foundation for International Development/Relief (FIDR)

This project seeks to enhance a community-based surgical care system in Kratie Province, enabling patients to receive timely and appropriate surgical treatment. The project’s key components include strengthening the skills of medical personnel, fostering collaboration among local healthcare facilities, and installing surgical equipment at Kratie Provincial Hospital.

The Grant Assistance for Japanese NGO Projects started in Cambodia in 2002 to support activities by Japanese NGOs to help Cambodia's reconstruction and development efforts at the grassroots level. Since 2002, the Government of Japan has provided over US\$60 million for over 170 projects, mainly in the field of primary education, health, agriculture and mine clearance in Cambodia.

Embassy of Japan in Cambodia

Tel: 023-217-161

Email: eco.jpn@pp.mofa.go.jp

Website: <http://www.kh.emb-japan.go.jp>